

2025 年 11 月 16 日 (日)

日本キリスト教団 ^{きゅうほうきょうかい} 久宝教会

第 68 巻第 31 号 (通算 3468 号)

教会設立 1959 年 6 月 14 日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺 6 丁目 7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

^{ちい}小さくされている^{ひと}人を
^{たいせつ}大切に^{きょうかい}する教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ5:5)

あいじしゆくふくげっかん
愛児祝福月間

こうたんぜんせつ だい しゅじつれいはい
降誕前節 第6主日礼拝

《^{れいはい}礼拝はインターネットで^{ちゅうけいはいしん}中継配信いたします。ホームページにてどなたでも^{しちょう}ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に^{ばしょ}礼拝をして^{れいはい}頂^{いた}けます》

^{ぜんそう}前奏 (黙^{もく}祷^{とう})

AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

^{まね}招きの^{ことば}詞

^{そうせいき}創世記

^{しょう}8 章 ^{せつ}21-22 節

^{さんびか}賛美歌 21-425 番「こすずめも、くじらも」(©JASRAC)

^{せいし}聖書

マルコによる^{ふくいんしよ}福音書

^{しょう}13 章 ^{せつ}3-13 節

^{いの}お祈り

^{さんびか}賛美歌 21-467 番「われらを^{ばん}導^{みちび}く」(©著作権消滅)

メッセージ「災いの意味を問う」

^{うしだ}牛田 ^{ただし} 匡 ^{ぼくし} 牧師

^{さんびか}賛美歌 『新生^{しんせい}讃美歌』73 番「善^{ばん}き^よ力^{ちから}にわれ^{かこ}囲まれ」(©JASRAC)

^{しゅいの}主の祈り 21-62 番「天にいます わたしたちの父」(©讃美歌改訂委員会)

^{あいじしゆくふくしき}愛児祝福式 (*)

^{うしだ}牛田 ^{ただし} 匡 ^{ぼくし} 牧師

^{ささげもの}献げ物 (**)

^{はけん}派遣 21-91 番「神の恵みゆたかに^{ばん}受^{かみ}け」(1 節のみ) (©JASRAC)

^{しゆくふく}祝福

^{うしだ}牛田 ^{ただし} 匡 ^{ぼくし} 牧師

^{こうそう}後奏 アーメン コーラス (21-40-6 番) (©教団讃美歌委員会)

^{ほうこく}報告 (4 頁^{ページ}をご参照^{さんしょう}ください)

《^{せき}席にお^{すわ}座りになったままで^{れいはい}礼拝にご参加^{さんか}ください》

* みんなで出席^{しゅつせき}された子どもたちに神様からの祝^こ福^{かみさま}をお祈^{しゆくふく}りします。

* * 「^{ささげもの}献^{けんきん}げ物^{ようい} (献金)」はご用意のある方のみ、お^{かた}献^{ささ}げください。

招きの詞 創世記 8章 21-22節 (聖書協会共同訳)

²¹ 主は宥^{なだ}めの香りを嗅^かぎ、心の中で言われた。「人のゆえに地を呪うことはもう二度としない。この度起こしたような、命あるものをすべて打ち滅ぼすことはもう二度としない。

²² 地の続くかぎり、種蒔きと刈り入れ

寒さと暑さ、夏と冬

昼と夜、これらがやむことはない。」

聖書 マルコによる福音書 13章 3-13節 (聖書協会共同訳)

³ イエスがオリーブ山で神殿の方を向いて座っておられると、ペトロ、ヤコブ、ヨハネ、アンデレが、ひそかに尋ねた。⁴ 「おっしゃってください。そのことはいつ起こるのですか。また、それがすべて実現するときには、どんな徴^{しるし}があるのですか。」⁵ イエスは話し始められた。「人に惑わされないように気をつけなさい。⁶ 私の名を名乗る者が大勢現れ、『私がそれだ』と言って、多くの人を惑わすだろう。⁷ 戦争のことや戦争の噂^{うわさ}を聞いても、慌ててはいけない。それは必ず起こるが、まだ世の終わりではない。⁸ 民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、方々に地震があり、飢饉が起こる。これらは産みの苦しみの始まりである。⁹ あなたがたは自分のことに気をつけていなさい。あなたがたは地方法院に引き渡され、会堂で打ち叩かれる。また、私のために総督や王の前に立たされて、証しをすることになる。¹⁰ こうして、まず、福音がすべての民族に宣^のべ伝えられねばならない。¹¹ 連れて行かれ、引き渡されたとき、何を言おうかと心配してはならない。その時には、あなたがたに示されることを話せばよい。話すのはあなたがたではなく、聖霊なのだ。¹² 兄弟は兄弟を、父は子を死に渡し、子は親に反抗して死なせるだろう。¹³ また、私の名のために、あなたがたはすべての人に憎まれる。しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われる。」



《先週のメッセージより》2025年11月9日

「信頼は態度によって表される」

牛田匡牧師

聖書 ヤコブの手紙 2章 14-26節

今回のお話の主題は「実践の伴わない信仰は、無意味であり死んだものである」(2:26)という明確なものでした。このような手紙が書かれた、ということは、裏を返せば、今から2000年近く昔の教会においても、そのようなことが「よくあった」ということです。口で言っていることと実際に行動していることが違う、というのは、大昔から、そして信仰を同じくする人たちの集まりの中でも、確かにあり続けて来たことだったのでしょうか。「人の痛みを自分のこととして思いやること」が大切だと言っても、着る物がなく、お腹を空かせている人に対して、「安心して行きなさい。暖まりなさい。存分に食べなさい」と言うだけで、体に必要なものを与えないなら、何の役にも立たない(15-16)というのは、誰にでも分かる当たり前のことです。現代社会でも、そのようなことは起こっていないでしょうか。

最後の言葉「霊のない体は死んだものである」(26)は、「霊(プネウマ)」と訳されていますが、いわゆる「靈魂」と言うよりも、単純に「呼吸」のことです。「息をしないと体は死んでしまう」のと同じように、「行動を伴わない信仰も、また死んだものだ」と言うわけです。ですから、さらに言い換えれば「行い、実践というのは呼吸のようなものだ」とも言えるでしょうか。信仰や信頼というものは呼吸のように自然なもの。大きく深呼吸することばかりが大事なのではなく、たとえ小さくても着実に継続し続けることが大切。そんな呼吸のような小さな行動の連続によって信仰や信頼というものは完成されるのだ(22)とも言えるのではないかと思います。目や顔の表情が体全体の様子を代表している(マタイ6:22-23)ように、私たちは神と人とに対する信頼を、大きな行動として表すことは難しくても、態度や表情のような小さなことからなら、始められるのではないのでしょうか。自分で意識していなくても、それこそ寝ている間であっても、私たちは絶え間なく呼吸をしているように、神の霊はいつも私たちの中にあり、私たちは神様の御手の中に生かされています(詩139:5)。私たちの態度や言動の一つ一つが、接する相手お一人お一人に、安心と信頼を伝えられるものでありたい。それは私たちの自分の力だけではできなくても、共にいてくださる神様によって励まされ、導かれて可能になるということ、そのような神様の働きに信頼して、今日も歩みを進めて参ります。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2025 年 11 月 9 日

教会での礼拝は休会でした。YouTube でのメッセージの配信のみ行いました。
礼拝配信視聴回数 4 回 感謝

◎次週 2025 年 11 月 23 日（日）（愛児祝福月間）降誕前節第 5 主日礼拝

招きの詞 詩編 78 編 1-4 節

聖書 サムエル記 上 16 章 1-13 節

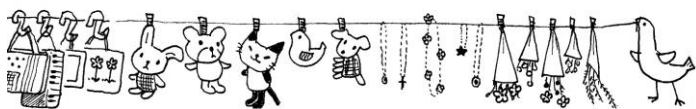
メッセージ「人は外見を見るが、神は内面を見る」牛田匡牧師

賛美歌 21-268 番（©出版局）、21-568 番、21-409 番（©JASRAC）

11 月は「愛児祝福月間」ですので、子どもが出席された場合、礼拝の中で「愛児祝福式」を行います。礼拝後に、釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を行います。

◎お知らせ

- ・これまでの「週報」や「メッセージ（全文）」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分を YouTube でご覧いただくことも可能です。
- ・本日の礼拝後、15 時から王寺墓地にて、大阪教区墓地委員会主催の墓前礼拝が行われます。司式は南住吉教会の岡本拓也牧師です。
- ・本日 11 月 16 日（日）14 時から大阪私学会館講堂にて、ドキュメンタリー映画「アレン・ネルソン 9 条を抱きしめて ～元米海兵隊員が語る戦争の真実～」完成披露上映会が開催されます。アレン・ネルソンさんは、ベトナム戦争に従軍した元アメリカ海兵隊員で、帰国後も長く過酷な戦場体験による PTSD（心的外傷後ストレス障害）に苦しみました。そこから立ち直ったアレンさんは、「真の戦争とは、平和とは何か」について、1996 年から 2009 年にベトナム戦争で浴びた枯葉剤が原因とみられる血液のガンで亡くなるまで、1200 回を超える講演活動をされました。終映後、映画にも出演された沖縄在住の政治学者ダグラス・ラミスさんの講演会も予定しています。開場は 13:30 で、上映開始 14 時～（上映時間約 75 分間です）。参加費は 1,000 円です。どなたでもご参加ください。
- ・11 月 18 日（火）13 時から 15 時半にかけて東梅田教会にて、大阪教区教会婦人会連合によるクリスマスミニバザーとミニコンサートが開催されます。ミニバザーは 13 時から 15 時半まで 2 階ホールにて。
ミニコンサートは 14 時 15 分から 14 時 45 分まで 3 階礼拝堂でハンドベルの演奏が行われます。参加費は無料です。どなたでもご参加ください。



◎次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
11/23	牛田匡牧師	（愛児祝福月間）おにぎり支援 15時～ 教区服部墓前礼拝（家山牧師）
11/30	牛田匡牧師	（愛児祝福月間）（アドベント入り） 誕生者祝福式
12/7	牛田匡牧師	（アドベント）ユーカリスト・教会を考える会
12/14		（第二好意の庭・クリスマス礼拝） 教会堂での礼拝は休会です（Youtube配信のみ行います）

クリスマスミニバザー・ミニコンサートの ご案内とお願い

2025 年 10 月 14 日
大阪教区教会婦人会連合

主の御名を賛美いたします。
今年の夏は例年になく厳しいものでした。皆さまにはお変わりありませんでしょうか、お伺い申し上げます。
今年もクリスマスバザーのご案内をさせていただきます。今年も大きいバザーはできませんけれど、昨年に続きクリスマスミニバザー・ミニコンサートを開催します。ご一緒に楽しいひと時、お交わりの時を過ごしたいと思います。ぜひお越しください。ご案内申し上げます。

記

日時：2025 年 11 月 18 日（火） 13：00～15：30

会場：東梅田教会 大阪市北区野崎町 9-6
（会場への問い合わせはご連絡下さい）

目的：・大阪教区教会婦人会の交わり、活動のために
・全国教会婦人会連合の活動のために
・にじのいえ信愛荘の維持のために
・釜ヶ崎、その他諸施設の活動のために
・東日本大震災復興支援のために、他災害復興支援のために



☆ミニバザー 13:00～（コンサート）～15:30 2 階ホール
クッキー・ケーキなど手作り菓子、クリスマスカード、手芸品などを販売予定。ゴスペルハウス教会のドリップバックコーヒー販売、喫茶コーナーのみ開店予定。

献品のお願い
＊手芸品、手作りクリスマスグッズ（カード、リースなど歓迎）
＊クッキー・ケーキ等の手作り菓子
（教会名、製作日、賞味期限をご記入下さい）
＊献品には必ず値付けをして、持ち込みは 12：00 からお願い致します。
＊手作りのみで行います。（既製の生活雑貨、陶器類、古着等は扱いません）